

新しい 浦島橋

H30.3.10 完成

新しい浦島橋

みやま市側から柳川市側を望む
(平成29年12月)

浦島橋は安全な橋へと生まれ変わります

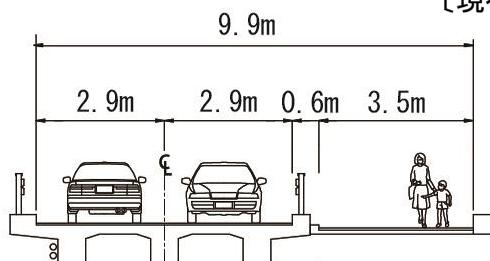
現在の浦島橋は、矢部川に架かる橋で昭和31年に架設されてから60年以上経過し、橋の損傷や老朽化が著しい状態です。また、車道幅員が狭く、前後の区間に歩道がないなど交通安全上の課題もあります。

今回の完成により、より安全な橋へと生まれ変わるだけでなく、浦島橋を利用する車両や、歩行者、並びに自転車利用者に対して安全で快適な道路空間を確保します。

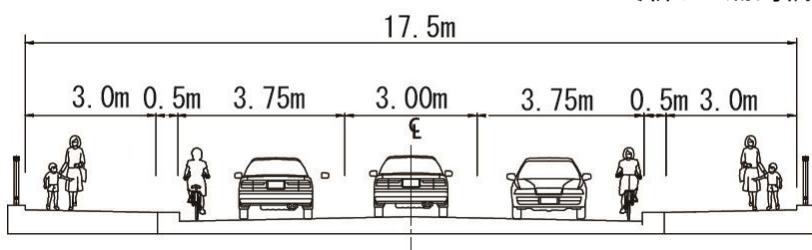
道路計画の諸元

【橋梁横断図】

〔現在の浦島橋〕



〔新しい浦島橋〕



区間	(自)みやま市高田町徳島 (至)柳川市大和町中島
延長	全延長 : 730m 一般部 : 570m 橋梁部 : 160m
車線数	2車線
有効幅員	一般部 : 15.0m 橋梁部 : 17.5m

早くそして、安全に



手延べ機

送出架設状況
(平成29年5月)

出水期での施工を可能とする架設工法を導入

橋梁の架設は一般的に、川の中に支柱をたててクレーンを用います。そのため、梅雨など河川が増水する時期は施工できません。

新しい浦島橋は、地元のご協力により橋のもとに十分なスペースを確保できたため、送出架設工法を採用しました。この工法は、陸上で予め橋を組み立て、桁の先端に手延べ機を取り付け、川の方へ送り出す工法です。これにより通年の施工が可能となり、完成が早まりました。



P1橋脚の施工を開始
(平成27年1月)



下部工完成
(平成28年6月)



手延べ機組み立て中
(平成29年4月)



送出架設完了
(平成29年9月)

安全な橋であるために



現在の浦島橋点検状況

補修・補強工事を精力的に実施

現在の浦島橋は完成してから60年余り経過し、コンクリートのひびわれや鉄筋露出など老朽化が進行しています。これまで補修、補強工事等を実施し、安全な橋を保ってきました。今回の架け替えにより安全性のより高い橋へと生まれかわります。



桁コンクリートひびわれ



鉄筋露出



桁コンクリート浮き



ししょう
支承部の漏水

より安全でより快適に



国道208号(中島地区)
(平成29年11月)

安全な道路空間を目指して

浦島橋にとりつく道路は、車道幅員が狭く、歩道がないなど交通安全上の課題があります。今回の架け替えに併せて、車道幅員を広げるとともに歩道や自転車通行空間を設置し、より安全でより快適な空間になります。



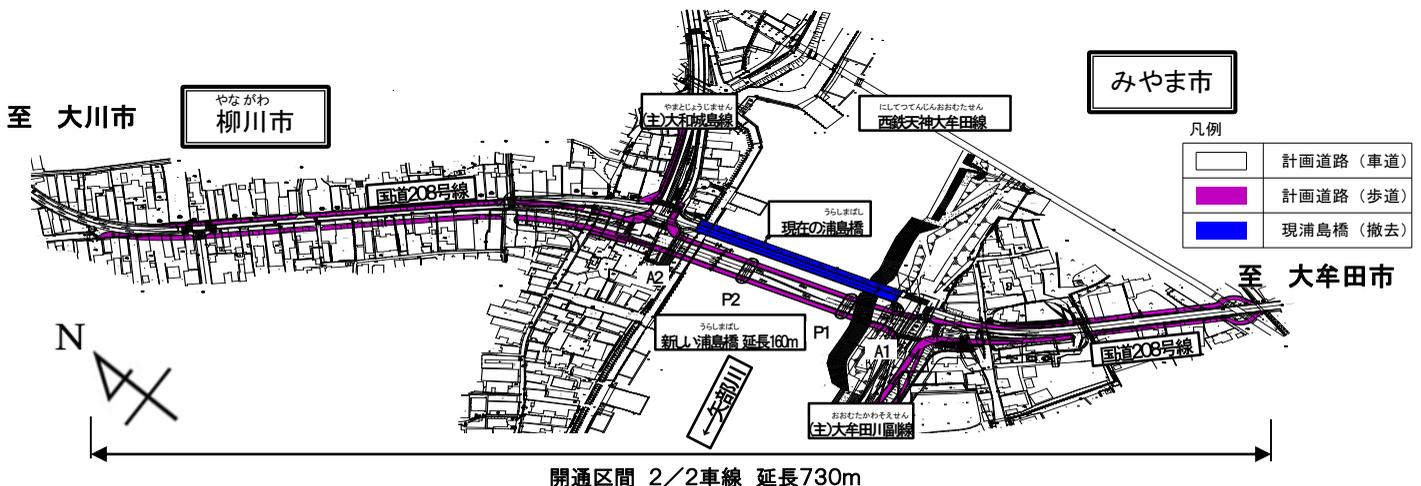
小学生の通学状況



大型車の離合



自転車の通行状況



地域の方々に支えられて



中島朝市のにぎわい

地域の協力・支援を頂きながら完成へ

新しい浦島橋への架替事業は地域の方々のご理解とご協力を得ながら進めています。新しい浦島橋は4代目。昔から利用され親しまれている浦島橋をこれからも大切にしていきます。



コンクリート化された2代目浦島橋
(大正5年)



3代目浦島橋の通り初め
(昭和31年)



3代目浦島橋
(平成21年2月)



現場説明会
(平成29年8月)